

2019年7月2日

学校薬剤師部 部員各位

(一社) 姫路薬剤師会
学薬-2019-11 学校薬剤師部

平素は会務運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

健康行動教育科学研究会より「第28回薬物乱用防止教育研修会」「第29回アルコール健康教育研修会」の開催案内がまいりました。参加希望の方は2019年7月16日(火)16時までに姫路薬剤師会へお電話にてお申し込み下さい。(TEL:079-282-2100)

(公印省略)

令和元年 6 月 26 日

支 部 長 様
学校薬剤師部委員 様

一般社団法人兵庫県薬剤師会
会 長 笠 井 秀 一

第 28 回薬物乱用防止教育研修会及び第 29 回アルコール健康
教育研修会のご案内について

平素より学校薬剤師活動につきましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会について、健康行動教育科学研究会から別添のとおり開催案内がありました。

~~つきましては、参加希望者がございましたら貴支部にて取りまとめの
上、別紙申込書にて7月19日(金)までに兵庫県薬剤師会へFAXにて申込
み願います。~~

当研修会に係る費用は、学校薬剤師部より一部負担させていただく予定ですが、費用負担に関しましては予算に限りがございますので、申込人数により負担金額を決定しますこと申し添えます。

また、研修会に参加された先生には報告書をご提出いただく事になります(兵薬界10月号へ掲載予定)。原稿は、およそ400文字~800文字(写真があれば添付)で9月5日(木)までにご提出願います。どちらか一方の研修会の報告書でも結構です。

この研修会に参加された先生方には、学薬の研修会にて講演を依頼する場合もございますので、その際にはご了承の程よろしくお願いいたします。

(一社) 兵庫県薬剤師会 事務局 山田

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-4-3

TEL 078-341-7585 FAX 078-341-7113

Mail: yamayu@hps.or.jp

第 28 回薬物乱用防止教育研修会開催要項

薬物乱用の根絶のため、我が国は、昨年 8 月、第五次薬物乱用防止五か年戦略を策定し、関係省庁を挙げて取り組んでいます。大麻の急激な増加など、新たな局面を迎えています。

このため、薬物乱用防止教育の一層の強化徹底が求められています。

この研修会は、文部科学省や厚生労働省など関係省庁、諸組織・団体の後援を受け、27 年間にわたり、学校や地域社会において、薬物乱用防止教育に携わっておられる方々の資質の向上のため、理論面から学校における実践までを含めて研修を続けて参りました。

趣旨をご理解の上、ご参加下さいますようお願いいたします。

記

- 1 主 催：健康行動教育科学研究会
- 2 共 催：一般社団法人東京都学校薬剤師会
- 3 後 援：文部科学省、厚生労働省、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター
公益財団法人日本学校保健会（昨年度実績：今年度申請中）
- 4 日 時：令和元年 8 月 23 日（金曜日） 9 時 55 分から 16 時 30 分（受付 9 時 20 分から）
- 5 場 所：東京工科大学蒲田キャンパス 3 号館 17 階 多目的実習室
〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22
- 6 参加対象：教職員、教育委員会職員、学校薬剤師、学校医、PTA 関係者、警察、麻薬取締員
精神保健センター・保健所職員、その他薬物乱用防止に関心のある者
- 7 定 員：120 名
- 8 受講料：3,000 円（資料代として：当日お支払い下さい）

研 修 内 容 （講師の敬称は略させていただきます）

9:55	開会式（挨拶）		
10:00	講演Ⅰ	薬物乱用の現状と課題 厚生労働省医薬生活衛生局監視指導・麻薬対策課課長補佐	成 嶋 伸 浩
11:00	講演Ⅱ	薬物乱用・依存（心理社会的立場から） 国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 心理社会研究室長	嶋 根 卓 也
13:00	講演Ⅲ	薬物乱用防止教育の進め方 神戸大学名誉教授	石 川 哲 也
14:00	実践報告と意見交換	コーディネータ 国士舘大学非常勤講師 実践報告 小学校 中学校 高等学校 学校薬剤師会	村 木 久 美 江
16:25	閉会式（挨拶）		

第 29 回 アルコール健康教育研修会開催要項

青少年を取り巻く社会環境の変化は、青少年の危険行動を助長するとともに益々複雑化しています。飲酒問題においても同様です。危険行動を防止するためには、一次予防が極めて有効であることは論を待ちません。

この研修会は、学校や地域におけるアルコール健康教育とかがわっておられる方々の資質の向上のため、理論面から、また、学校においての実践活動までを含めた研修会として28年にわたり続けてまいりました。

趣旨をご理解の上、ご参加くださいますようお願いいたします。

記

- 1 主 催： 健康行動教育科学研究会
- 2 共 催： 一般社団法人東京都学校薬剤師会
- 3 後 援： 厚生労働省、公益社団法人アルコール健康医学協会、公益財団法人日本学校保健会
(昨年度実績：今年度申請中)
- 4 日 時： 令和元年 8 月 22 日(木曜日) 9 時 55 分から 16 時 30 分(受付 9 時 20 分から)
- 5 場 所： 東京工科大学蒲田キャンパス 三号館 1 7 階 多目的実習室
〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22
- 6 参加対象： 教職員、教育委員会職員、学校薬剤師、学校医、PTA 関係者、精神保健センター・保健
所職員、その他アルコール健康教育に関心のある者
- 7 定 員： 100 名
- 8 受 講 料： 3,000 円(資料代として：当日お支払い下さい)

研 修 内 容 (講師の敬称は略させていただきました)

9:55	開会式 (挨拶)		
10:00	講演 I	飲酒の問題点 埼玉医科大学医学部社会医学教授	亀井美登里
11:00	講演 II	アルコールの人体影響 国立病院機構久里浜医療センター臨床研究部部長	横山 顕
13:00	講演 III	アルコール健康教育の進め方 聖心女子大学教育学科教授	植田 誠治
14:00	実践報告と意見交換	コーディネータ 青少年喫煙等健康問題研究会代表 実践報告者 小学校 中学校 高等学校 学校薬剤師会	小林 賢二
16:25	閉会式		